

教育相談だより



発行：令和2年（2020年）6月
八代清流高等学校 教育相談係

2ヶ月遅れで学校生活がスタートして、3週間が経ちました。
みなさんは今、どのようなコンディションで毎日を過ごしていますか。
休校期間が長かった分だけ、いつも以上に体や心に疲れを感じている人も多いことでしょう。
体や心を休め、リラックスする時間を確保し、不安なことがあれば、信頼できる人に相談しましょう。
自分の思いを誰かに話すことで、少しでも心が軽くなるかもしれません。

🍀 6月は「心のきずなを深める月間」です 🍀

新型コロナウイルス感染症の流行によって、人との接触を断たれる経験をし、改めて「誰かと関わること」の大切さを実感した人も多いのではないのでしょうか。

私たちは、誰とも関わらずに生きていくことはできません。
人とどう関わり、心を通わせるか…その基本は、相手の立場に立った行動と、思いやりのある言葉です。
誰もがこの視点に立てば、いじめや差別は起こらないはずです。いじめや差別、偏見に「おかしい」と気づく感覚と、行動することのできる力を、みんなで高めていきましょう。



クラスの「きずなの木」を育てよう

1・2年生の各クラス保健委員さんが、
「きずなの木の実」（フルーツ）のカードを配ります。
一人一枚、クラスメイトとのあたたかい「きずな」
を感じ、深められるような言葉を記入して下さい。
みなさんが言葉を書いた木の実を、「きずなの木」
に実らせませす。清流高校にあたたかい気持ちが
たくさん実るよう、協力をおねがいします。



思いやりの実！
あたたかい実！
元気になる実！



「人との関わり」にヒントを与えてくれる言葉たち

人との関わり方に悩んだり、迷ったりしているのは、私たちだけではありません。
大昔から、先人たちも「他者とどう関わるか」について悩み、考えを深めてきました。
他者と関わり、心のきずなを深めていくことは、人が生きて行く上で永遠のテーマかもしれません。

- ◆ 「人の己を知らざるを患えず、己の人を知らざるを患う。」 / 孔子
(相手が自分をわかってくれないことを嘆くより、自分が相手をわかっていないことを気にしなさい。)
- ◆ 人づき合いがうまいというのは、人を許せるということだ。 / ロバート・フロスト
- ◆ 欠点のない人間はいないだろう。友人の欠点をとがめ立てていたら、この世に友人というものはないだろう。 / 高見 順
- ◆ いいものを ひとの足もとへそうつとおいて しらん顔をしていたい / 八木 重吉